モンゴル帝国と元寇

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

旧石器　縄文　弥生　古墳　飛鳥　奈良　平安　**鎌倉**　室町

今日の問い

モンゴル帝国はどのように広がり、元軍の襲来に幕府はどう立ち向かったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 モンゴル帝国と東西の交流

世界の動き

1 13世紀の初め、モンゴルの諸部族を統一し、モンゴル帝国を築いた。

3 チンギス・ハンの孫。国号を元と改め、都を大都に置いた。

4 フビライ・ハンが国号を改めた国。都は大都(今の北京)。

7 元を訪れたイタリアの商人。旅の記録で日本を「黄金の国」と紹介した。

13世紀の初め、[1]＿＿＿＿＿＿ はモンゴルの諸部族を統一し、[2]＿＿＿＿＿＿ を築いた。帝国はユーラシア大陸の東西にまたがる大帝国となった。孫の [3]＿＿＿＿＿＿ は国号を [4]＿＿＿ と改めて都を [5]＿＿＿ (今の北京)に置き、朝鮮半島の [6]＿＿＿ を従えた。元はのちに中国の南宋もほろぼし、中国全土を支配した。

モンゴル帝国の時代には各地を結ぶ道が整えられ、東西の人や品物、文化の行き来がさかんになった。元を訪れたヴェネツィアの商人 [7]＿＿＿＿＿＿ は、旅の記録で日本を「黄金の国」と紹介した。フビライは日本にもたびたび使者を送り、元に従うよう求めた。海でへだてられた日本も、この大きな動きと無関係ではいられなくなった。

2 元寇 ― 文永の役と弘安の役

元軍との戦い

8 元の服属要求を拒んだ、鎌倉幕府の執権。

14 文永の役と弘安の役、2度の元軍の襲来をまとめた呼び方。

12 幕府が博多湾の沿岸に築いた石の防壁。石塁ともいう。

執権の [8]＿＿＿＿ が元の要求を拒むと、1274年、元と高麗の軍は対馬・壱岐をおそい、九州北部の博多湾に上陸した。これを [9]＿＿＿＿ という。御家人は、元軍の [10]＿＿＿＿ や、火薬を使った武器の [11]＿＿＿＿ に苦戦したが、元軍は短い期間で引きあげた。

幕府は御家人に九州北部の沿岸の警備を命じ、博多湾の沿岸に石の [12]＿＿＿ (石塁)を築いて備えた。1281年、元は再び大軍を送ったが([13]＿＿＿＿)、防塁や御家人の抵抗にはばまれて博多湾岸に上陸できず、暴風雨で大きな損害を受けて退いた。2度の襲来をあわせて [14]＿＿＿ という。

元の服属要求を北条時宗が拒否 ▶ 1274年 文永の役 博多湾に上陸 ▶ 幕府が防塁を築く ▶ **1281年 弘安の役** 博多への上陸を防ぐ

できた ＿＿＿ / 14

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。